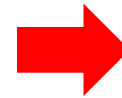
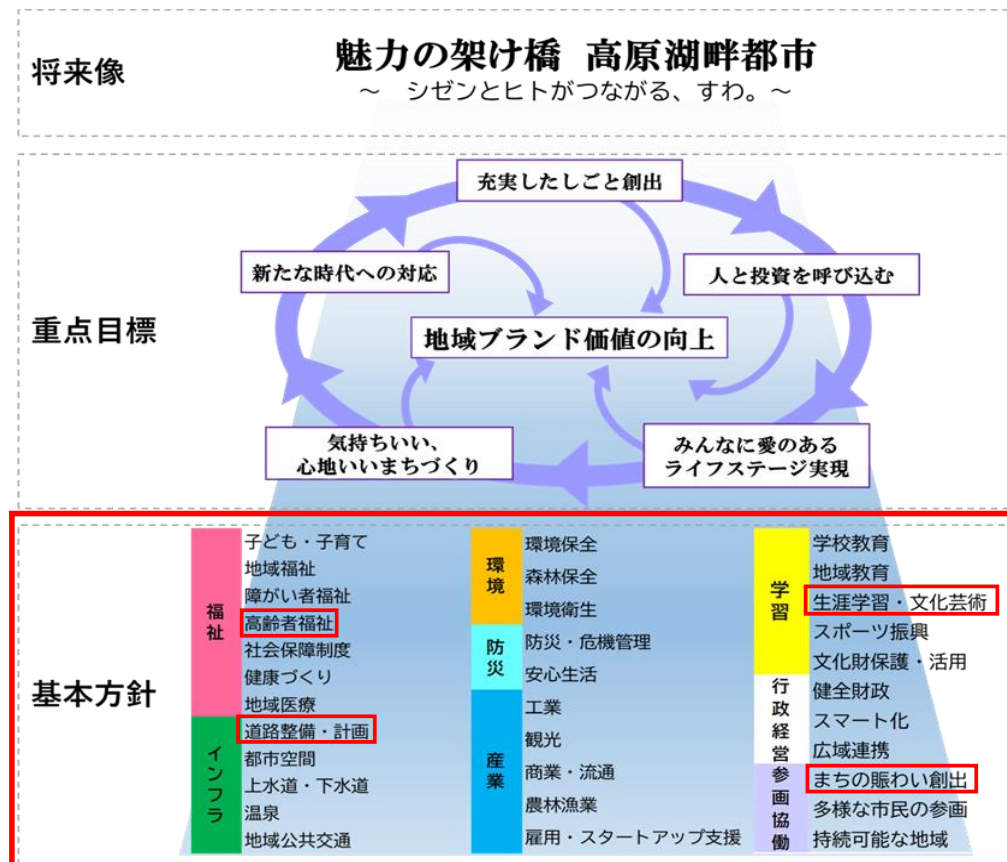


第六次諏訪市総合計画に基づき 実施した事業の効果検証

第六次諏訪市総合計画について



◎総合計画外部検証委員会において、33の基本方針に基づき実施した主要な事業の効果検証を実施します。

◎毎年4事業ずつ、各分野、各基本方針を網羅できるよう偏りなく効果検証を実施します。

◆今回対象となる令和6年度事業

事業名	基本方針
介護予防普及啓発事業	高齢者福祉
種まくブック事業	生涯学習・文化芸術
スマートＩＣ整備事業	道路整備・計画
諏訪湖イベントひろば整備事業	まちの賑わい創出

事業名	介護予防普及啓発事業	担当課・係	高齢者福祉課・高齢者福祉係
対象者	市内在住の65歳以上の高齢者	事業内容を補足する図・グラフ・写真など	
事業のねらい	・年齢を重ねてもできるだけ健康を維持し、自分らしく充実した生活を送ることができるようフレイル予防事業を実施する。 ・複数の手法を用い、健康に関する知識やフレイル予防について普及啓発を行い、自宅等でも実践してもらう。 ・高齢者が集う地域コミュニティの活性化を後押しし、地域における健康づくりの機運を醸成する。		
事業の手段	・身体機能の維持や要介護状態に至る前段階のフレイル状態から脱却できるよう運動、口腔、栄養、脳トレ等を包含した内容の教室を令和6年度は202回実施した。 ・教室カレンダーの毎戸配布や、HP・LINE・新聞掲載等で普及活動を行った。 ・医療機関や介護保険事業所への周知、高齢者福祉課窓口や訪問時の声掛け、健康推進課と連携した事業周知などの啓発活動を行った。 ・教室に通うツールとして「チョイソコかりんちゃん」等公共交通の利用を推進した。 ・講師や参加者からの評価や意見により教室内容のブラッシュアップを図った。		



ひらめきハツラツ体操



あたまからだ元気教室

令和7年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料＜主要事業説明シート（裏）＞

事業名	介護予防普及啓発事業		担当課・係	高齢者福祉課・高齢者福祉係						
事業概要 現 状	フレイルを予防するためには、継続的な運動による筋力維持が不可欠であり、閉じこもり予防対策も重要である。フレイル予防教室を通じて自宅で手軽に取り組める運動の習得と、日常的な運動の習慣化を促進し、併せて口腔機能の向上や栄養管理、社会参加の必要性を推奨している。			K P I		KPI・必要経費 経年比較				
				介護予防教室参加延べ人数						
課 題	フレイル予防教室を通じて多くの高齢者が運動習慣を身に付け、フレイル予防を意識した日常生活を心掛ける必要がある。しかし、各教室への参加者は健康意識の高い方の参加に留まっており、意識の低い方の参加に向けた取り組みを行う必要がある。			単位	人	R4	R5	R6	R7	R8
				目標	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績	2,302	1,413	2,248	2,302		
評 価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		達成率	115.1%	70.7%	112.4%	115.1%	0.0%	0.0%
今後の取組の方向性	元気なうちからフレイル予防に関心を持ち、多くの高齢者に参加していただけるようニーズ把握を行い、多彩な教室を実施できるよう企画運営に取り組む。また、かかりつけ医等から各種教室への参加を促す体制の構築を図る。			必要経費（千円）						
				予算額	8,470	9,359	8,242	8,470	6,754	
				決算額	8,379	8,673	8,239	8,379		



令和6年度実績に対する考察

- ・令和6年度のフレイル予防教室参加者は、コロナ禍前の平成30年度（2,087人）と比較しても1.1倍になっており、コロナ禍前の水準を超える多くの方にご参加いただき、健康の維持改善に対する意識の高まりが伺える。
- ・多くの教室参加者から満足という評価を得ているが、引き続きマンネリ化しないよう講師と共にアイデアを出し合い、楽しみながら学べる教室としていく。参加されない方にヒアリングを行うと交通手段を挙げる方がいるため、令和7年度に毎戸配布する教室カレンダーへ新公共交通「チョイソコかりんちゃん」の利用方法について掲載を行った。
- ・高齢者人口が増加するなか、当事業を通じて元気な高齢者を増やすことにより年々増加している介護給付費や介護保険料の抑制につながるため、引き続き参加者ニーズを捉えた教室を開催していく。

令和7年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料＜主要事業説明シート（表）＞

事業名	種まくブック事業	担当課・係	生涯学習課・図書館
対象者	年度内に18歳になる、諏訪市在住者および出身者。令和6年度は平成18（2006）年4月2日～平成19（2007）年4月1日生まれの方。	事業内容を補足する図・グラフ・写真など	 私は今まで岩波新書に対して難しいイメージがあり、ほとんど読んだことがありませんでした。今回、「種まくブック」をきっかけに、岩波新書に幅広い分野の本があることを知り、興味を持ちました。頂いた本はとても面白く、お気に入りの一冊になっています。
事業のねらい	令和4年の成年年齢引き下げを契機に、18歳の成人祝いとして本を1冊プレゼントする諏訪市独自の取組を開始。本を読むことで得た知識や知恵が、悩みや迷いを抱えた時の指針となり道が拓けることもあることから、生きる力を育む一つの方法としての読書を勧めることで、新成人にエールをおくる。また、岩波書店の本から選ぶことで、創業者の岩波茂雄と信州風樹文庫について、諏訪の特色として知ってもらう。		
事業の手段	諏訪市在住の対象者に案内を郵送し、掲載されているQRコードから電子申請で希望の本を申込する。選書の対象は、岩波書店発行の岩波新書・岩波ジュニア新書・岩波文庫等から選ぶ。案内に掲載されているおすすめ本から選ぶか、同封のガイドブックやインターネット等で好きな本を選ぶことができる。プレゼントは、スマートレターで郵送される。諏訪市在住でない対象者には案内を郵送する手段がないため、ホームページや口コミに頼った周知のみ。		

令和7年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料＜主要事業説明シート（裏）＞

事業名	種まくブック事業		担当課・係	生涯学習課・図書館						
事業概要 現 状	18歳新成人へのお祝いに、岩波書店発行の岩波新書・ジュニア新書・岩波文庫等を贈る。対象は諏訪市在住または出身の今年度18歳になる市民。好きな本を選び、ながの電子申請から申込をする。130冊を配布し、ジャンルや内容が多岐にわたる興味のある本を贈ることができた。			K P I		KPI・必要経費 経年比較				
				案内人数に対する申込件数の割合						
課 題	申込数は令和5年度と令和6年度と続けて3割前後と定着しているが、高校生の不読率が48%（2024年5月1ヶ月間に読んだ本が0冊の高校生。全国学校図書館協議会調査）であることを考慮すれば、まだ増加の余地はある。忙しいなどの理由で申込みそびれている層への働きかけが必要。			単位	%	R4	R5	R6	R7	R8
				目標	40	20	20	40	40	40
				実績	29.5	12.9	31.1	29.5		
評 価	B	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		達成率	73.8%	64.5%	155.5%	73.8%	0.0%	0.0%
今後の取組の方向性	案内におすすめ本を増やす、電子申請の方法を改善するなどわかりやすさに努めるとともに、高校に協力を依頼し、情報配信に加え、本を見て直接選べるような場を作ってもらい、高校生が集まるイベントでPRする、など、周知に努める。			必要経費（千円）						
				予算額	596	1,741	594	596	496	
				決算額	243	629	261	243		

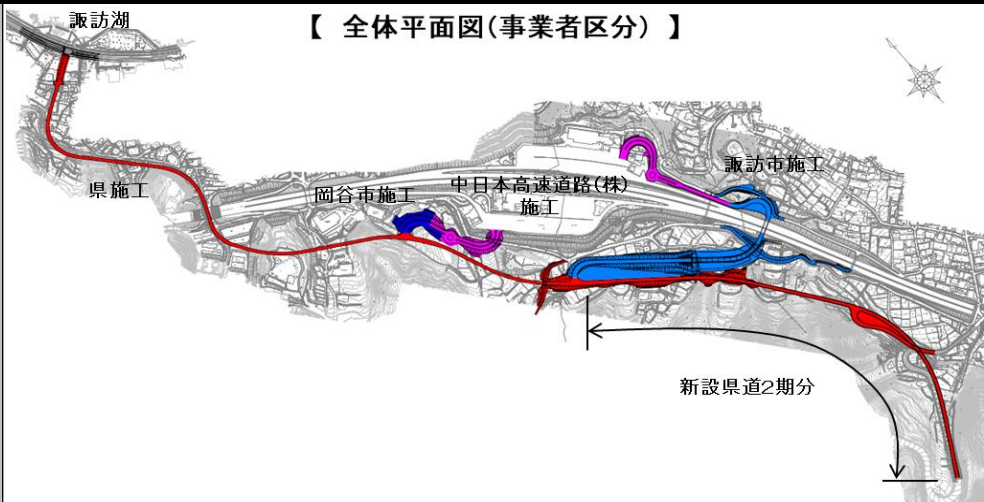


令和6年度実績
に対する考察

5月から10月の申込期間中、申込みが多かった月は10月で、次が5月と9月だった。この傾向は令和5年度も同様で、10月に多いのは、それまでの未申込者に「締切間近」を知らせる通知を郵送したため。締切に余裕があると忘れられる傾向がある。その間に、市のLINE、高校からの情報配信などを行ったが、それにより申込みが増えたという手ごたえはなかった。そもそも最初の案内通知を開かないという声も聞かれたので、令和7年度は封筒にイラストや中身がわかる文言を印刷して送ってみたところ、やや申込みが増加しており、若干効果が見られた。

令和7年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料＜主要事業説明シート（表）＞

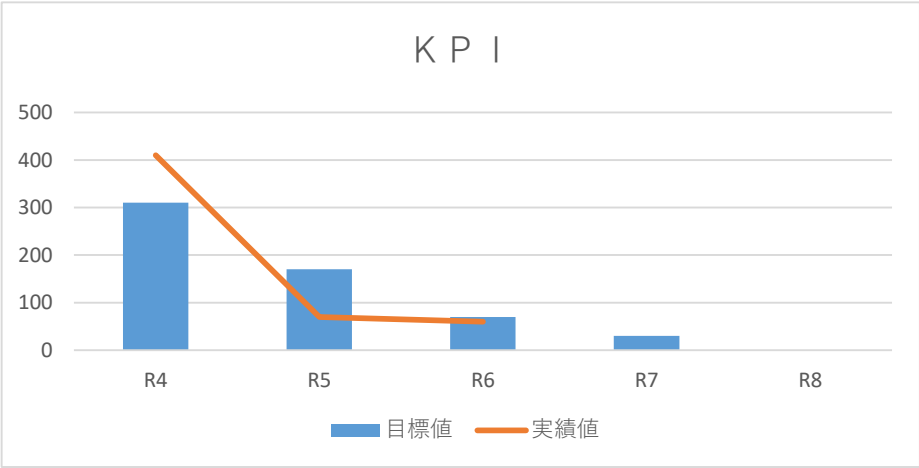
事業名	スマート I C 整備事業	担当課・係	建設課・建設係
対象者	高速道路利用者 （広義的には市内の観光・商工業に関わる方、また渋滞緩和の恩恵を受ける通行者）	事業内容を補足する図・グラフ・写真など	
事業のねらい	諏訪湖サービスエリアにスマート I Cを設置するためのアクセス道路（約580m）を整備して、諏訪湖へのアクセス性を向上させ、上諏訪温泉や工業団地等までの移動時間短縮に伴う商工業の発展や、観光振興を目的としている。特に令和6年4月に全線開通した諏訪湖周サイクリングロードとの相乗効果を期待。また、車両分散による諏訪インターチェンジ周辺の渋滞緩和にも寄与すると考えている。		
事業の手段	主要地方道岡谷・茅野線（岡谷市地籍）から有賀峠までの新設となる主要地方道諏訪・辰野線における道路整備を長野県が担い、その一部がスマート I Cのアクセス道路となる。当該県道から諏訪湖サービスエリアゲートまでのアクセス道路整備に関しては、中央道の上り線は諏訪市、下り線は岡谷市が担当。 中日本高速道路株式会社、長野県、岡谷市及び諏訪市の4者が事業主体として連携をしつつ、地元住民の理解を得るために丁寧な説明をしながら道路整備を行う。		



諏訪湖 S A アクセス道路（市道33225号線）の状況：岡谷市方面へ望む

令和7年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料＜主要事業説明シート（裏）＞

事業名	スマート I C 整備事業		担当課・係	建設課・建設係						
事業概要 現 状	アクセス道路（諏訪市施工分）および新設県道（県施工分）の整備工事を実施中である。 工事進捗率（諏訪市施工分）94%であり、県を除いた3事業者の進捗率は98%となっている。			K P I						
				道路築造工事整備延長						
課 題	継続しての道路整備工事となるが、大規模事業となるため財源の確保と、岡谷市ならびに当市の地元住民理解を得ながら事業を進めること。新川水系神子沢水路改修工事や新設県道2期分（諏訪市側）の継続に向けて、合意形成を図ること。			KPI・必要経費 経年比較						
				単位	m	R4	R5	R6	R7	R8
				目標	70	310	170	70	30	-
評 価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了		実績	60	410	70	60		
				達成率	85.7%	132.3%	41.2%	85.7%	0.0%	-
今後の取組の方向性	令和7年7月27日の供用開始に向けて、県や岡谷市、中日本高速道路㈱と連携し、地元住民の理解を得ながら丁寧かつ着実に事業を推進する。			必要経費（千円）						
				予算額	699,803	603,900	547,131	699,803	46,590	
				決算額	655,369	103,183	540,869	655,369		



令和6年度実績
に対する考察

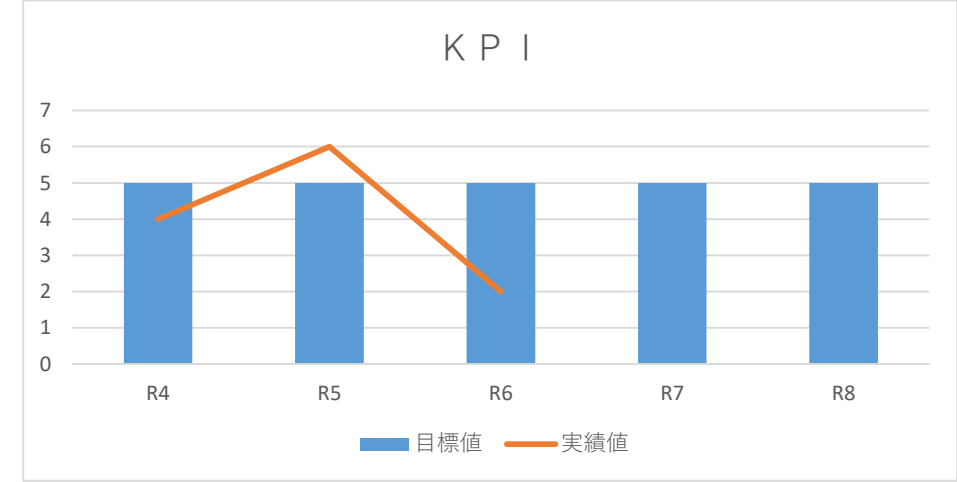
- ・令和6年3月末に予定をしていたスマート I C の供用開始を令和7年夏ごろに延期（令和5年11月に公表）としたことに伴い、令和6年度においては安全第一としながらも、工事用車両の通行ルートなどに関して、地元住民等に対して丁寧な説明を行い、理解を得ながら工期短縮と品質確保に努め事業進捗を図ってきた。
- ・その結果、令和6年度末時点における工事進捗率（諏訪市施工分）94%であり、県を除いた3事業者の進捗率は98%であった。
- ・令和7年夏ごろ（7月27日確定）の供用開始に向けて、道路整備を進めることができている。

令和7年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料＜主要事業説明シート（表）＞

事業名	諏訪湖イベントひろば整備事業	担当課・係	企画政策課・企画政策係
対象者	全市民及び市内事業者の他多数	事業内容を補足する図・グラフ・写真など	別添資料参照
事業のねらい	令和3年9月に策定した「諏訪湖イベントひろば基本計画」では、諏訪湖イベントひろばには、産業振興機能、コミュニティ（防災）機能、観光機能等を導入するという基本的な方向性が示された。また、整備に当たっては、民間のノウハウや民間資金を活用することとしている。 敷地内にこれらの機能を有する施設を整備することにより、工業や観光業等を中心とする産業振興やまちの賑わい創出に寄与することを目的としている。		
事業の手段	・ 土壌調査の実施（R6実施） ・ 現建屋の解体（R8実施予定） ・ 整備方針の検討、策定（基本計画の具体化） ・ 官民連携方針の策定 ・ サウンディング調査 ・ 公募要領の作成 ・ 公募、審査、基本協定締結 ・ 契約内容協議、事業契約締結 ・ 整備開始		

令和7年度 諏訪市総合計画外部検証委員会資料＜主要事業説明シート（裏）＞

事業名	諏訪湖イベントひろば整備事業		担当課・係	企画政策課・企画政策係						
事業概要 現 状	諏訪湖イベントひろばを上諏訪駅周辺の一体的整備に位置付け、駅周辺の賑わい創出、諏訪地域の魅力発信の拠点となるよう、基本計画を基に準備を進めている。令和6年度は、現建屋の解体や将来の整備を見据え、敷地全体の土壌調査を実施した。			K P I						
				本公募参加事業者数（本公募までの間は、継続的に問い合わせ等のある参加見込事業者数）						
課 題	令和6年度に実施した土壌調査の結果、本敷地一帯が土壌汚染対策法の規定による区域指定を受ける見込みとなった。また、基本計画策定時には具体化していなかった文化センター大規模改修事業など、他の大型事業が具体性を帯びるなど大きな状況変化が生じている中で整備に向けた準備を進めていく必要がある。			K P I ・ 必要経費 経年比較						
				単位	者	R4	R5	R6	R7	R8
				目標	5	5	5	5	5	5
評 価	A	A:現状のまま継続 B:手段改善の上継続 C:大幅に見直し D:事業終了	実績	2	4	6	2			
			達成率	40.0%	80.0%	120.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
今後の取組の方向性	文化センター大規模改修、駅西口広場整備とともに、上諏訪駅周辺の一体的整備の一つとして位置付け、上記の状況変化を踏まえつつ関係者との協議や調整を行っていく。また、土壌汚染対策法に基づく申請を令和7年度中に行う。			必要経費（千円）						
				予算額	50,000	0	1,000	50,000	0	
				決算額	35,332	0	957	35,332		



令和6年度実績
に対する考察

・土壌調査により敷地一帯の土壌汚染状況を把握することができ、これに基づき令和7年度に土壌汚染対策法に基づく区域指定の申請を行う準備ができた。

・土壌調査及び法に基づく区域指定手続きは、令和8年度以降の現建屋の解体又は将来の大規模整備の際に行うことも許容されるが、このタイミングで実施することにより、実際に事業を実施する際のスケジュールの短縮に繋がるものとなった。

・一方、本調査により土壌汚染が明らかとなったことから、建屋解体の工法や大規模整備の際の建築物の配置・工法などについて調査結果を織込んだものとする必要が生じた。